

学校番号	19	学校名	揖斐高等学校
------	----	-----	--------

学校教育目標 (教育方針)	1 豊かでたくましい心と自ら学び、自ら考える力を育成する 2 知・徳・体の調和のとれた人格を養う 3 地域社会に貢献できる人間を育てる		
	どんな生徒を育てたいか【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力を高め、学校生活のあらゆる場面で自ら学び・考え・行動できる生徒 ・ 多様な価値観を尊重し、仲間に対して心配りをしながら協働できる生徒 ・ 目標を達成するために挑戦し続けるとともに、「ふるさと揖斐」に貢献できる生徒 	
	3つの方針 (スクールポリシー)	生徒をどう育てるか【CP】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校設定科目「揖斐Basic」と、ICTの活用や対話的な学習による、社会人として必要な基礎学力の定着と主体性・コミュニケーション能力の育成 ・ 生徒が自信をもって進路実現ができるよう、専門分野を深く学ぶために外部教育力を活用した出前授業や、自ら地域に飛び出しておこなう体験学習・地域交流・「デュアル実習」など、社会に開かれた教育課程の実施 ・ 規律ある学校生活や様々な学校行事や課外活動による、自らを律して行動する力と他者を思いやり尊重する心の育成と、社会貢献の精神の涵養 	
	どんな生徒を待っているか【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の目標を実現するために専門性を高めようと努力する生徒 ・ 仲間を思いやり・気づかい、コミュニケーションを大切にする生徒 ・ 自然豊かな揖斐で学び、将来もふるさと揖斐に貢献したい生徒 	
学校の抱える課題	①生徒数の減少を見据えた対応 ②学校環境の整備 ③基礎学力の向上 ④人間関係形成能力の向上 ⑤持続可能な教育活動の展開		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	1. 魅力ある学校づくりの推進 2. 学習環境の整備 3. 勤務環境の改善	
	学習指導	1. 確かな学力の育成 2. 授業改善の推進	
	生徒指導	1. 心の教育の充実 2. 豊かな人間性の育成	
	進路指導	1. 地域社会の担い手の育成 2. キャリア教育の推進	

年度目標				年度末評価(自己評価)				
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け		達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	1. 本校の特性を発信するための中学校への啓発活動の見直し 【例】『学校案内』の作成及び配布方法の検討	20	施策IV-20	志願者数の推移				
	2. 生徒の体調面での健康と安全を確保するための空調設備の整備 【例】生活デザイン科の使用する専門教室のエアコン設置	20	施策IV-20	エアコン設置の状況				
	3. 教職員の誰もが働きがいを実感できる多忙化解消やハラスメント対策の取組の推進	27	施策IV-27	時間外勤務の検証 「エントリーシート」の分析				
学習指導	1. 中学校段階までにおける基礎・基本に係る学び直しの保障 【例】『揖斐Basic』の活用	8	施策II-8	「揖斐Basic」の検証				
	2. 「主体的・対話的で深い学び」の実現につながるICTの適切な利活用	9	施策II-9	「授業アンケート」の検証				
生徒指導	1. コミュニケーション能力や自己表現力を育成する取組 【例】「演劇ワークショップ」の開催	1	施策I-1	「演劇ワークショップ」の検証				
	2. ルールやマナー、モラルを遵守する意識の向上を図る取組 【例】「情報モラル教室」、「交通安全教室」の開催	19	施策III-19	各種アンケートの分析				
進路指導	1. 学びと地域貢献とをつなぐ学校外での実習や体験の充実 【例】「デュアル実習」の実施、「地域医療講座」への参加	13	施策II-13	就職状況の検証				
	2. 生徒一人ひとりのニーズ等に基づいた進学・就職支援の推進 【例】「進路ガイダンス」の充実	13	施策II-13	各種取組の分析				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日